

聖地巡礼

アニメーションや漫画のファンが、作品中に登場する場所を「聖地」と呼び訪れる。実写のドラマや映画でロケ地巡りと
言われていた行動は、2000年代に入るとアニメや漫画のファンの間
に聖地巡礼という呼び方
で定着しました。本来何も
無かった場所が突然観光
名所に変わりうるその行
動は、町おこしや地域経

済への影響から注目されるようになりまし
た。長野県は舞台として取り上げられることが多く、大町市（おねがい☆ティーチャー）、上田市（サマーウォーズ）、小諸市（あ

の夏を待つてる）などが巡礼地として有名です。聖地巡礼にはデメリットもありま
す。アニメや漫画という素材だけに作品の知名度が低く、大掛かりな撮影も行われな
いため元の認知度も低く
なります。当然、舞台にな
っていることを知らない
一般の住民からはファ
ンの行動は不可解に見え
てしまいます。また、最

近のテレビアニメの放送期間が三ヶ月から長くて
も一年程度と短いため、
経済効果を見込んで観光
地化しても、熱が冷えて
訪れる人が減るとい
う場合
があります。それでも新たな観光客を掘り起こそうと、各地で「聖地」化の動きは進んでいま
す。諏訪地方でもいくつ
かの作品で舞台として取り
上げられ
小さいながらも巡礼地として機能
している場所も
あります。



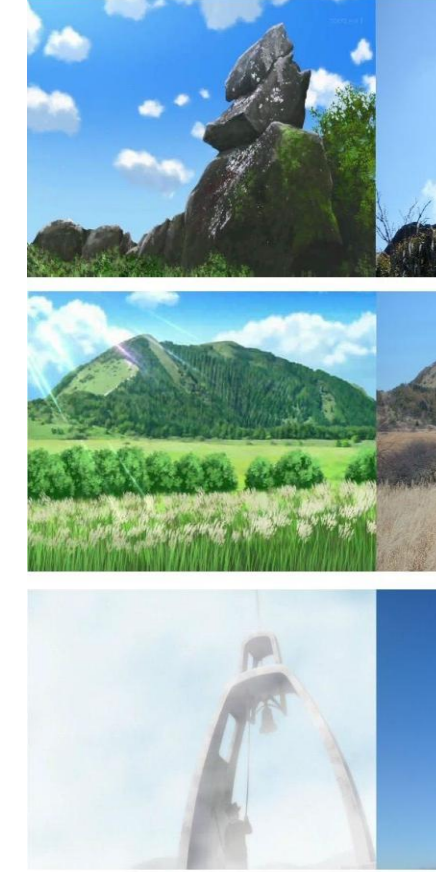
2013年TVアニメ化企
画進行中!
製作は、「アクエリオンEVO
L」IS「インフィニット・

©しろ／アリス・スター
エンターテイメント/
「ヤマノススメ」製作委
員会

「ゆるふわアウトドア」
がテーマ、女子高生が山
に登る……そのイメージ
以上に本格的な登山漫画
です。既刊7巻、現在も
連載が続いています。
アニメーション作品と
しては昨年の1月から3
月にかけて一期が放送さ

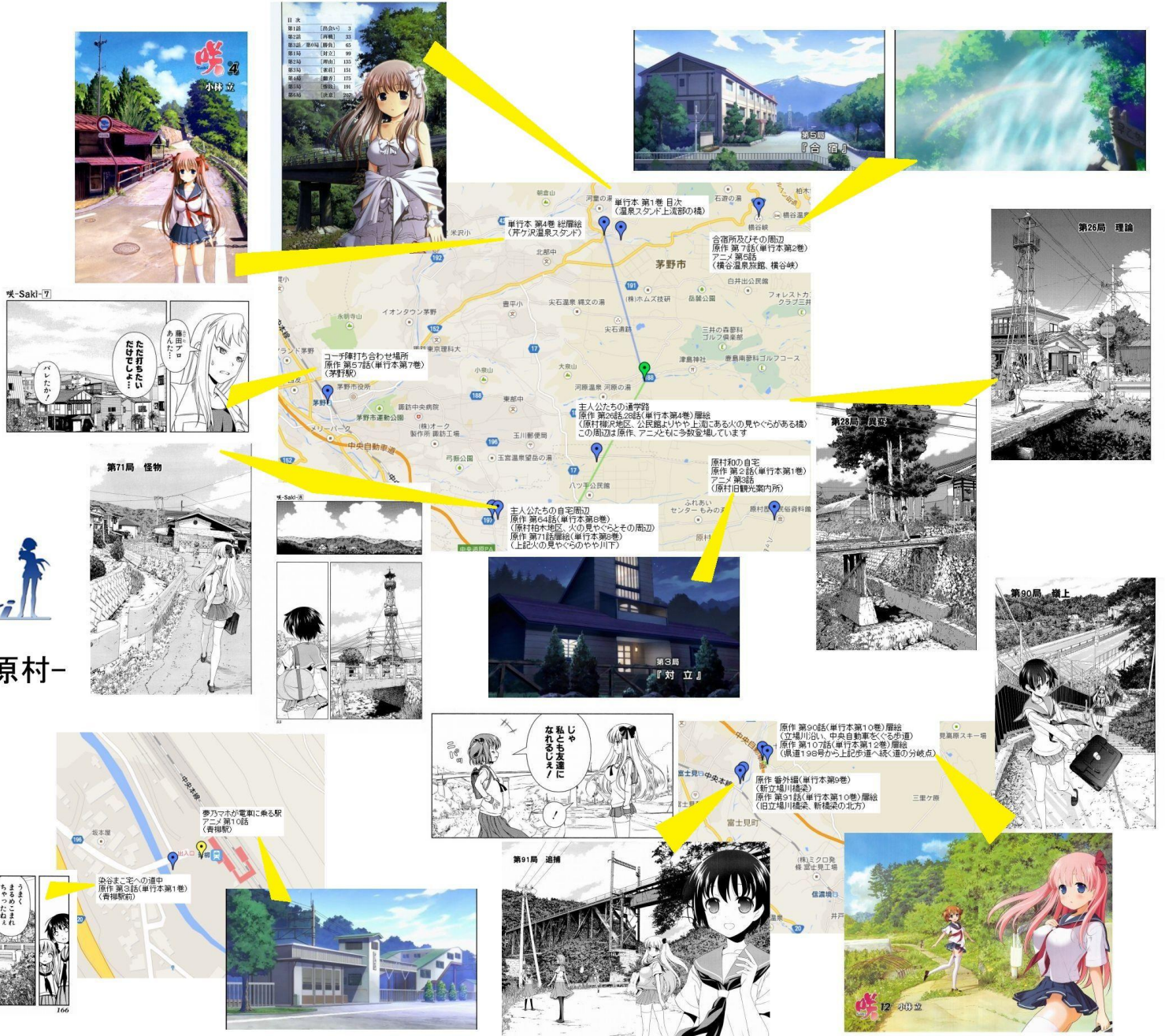
れ、今年7月からは二期
が放送されています。
登山が趣味の著者が描
いているだけに描写は現
实的で、楽しさだけでな
く、登山の過酷さ、挫折
も描かれています。
作品の主な舞台は埼玉
県飯能市ですが、長野県
にも何度か訪れ、霧ヶ峰
や木曾駒ヶ岳、木曾駒に
隣接する宝剣岳、そして
山梨県境にある金峰山に

興味を湧いてきたでし
ようか。知っている人は
「そうそうこれこれ」と
いう楽しみを、知らな
かった人には「こんなも
んが」という驚きを、少
しだけでもお届けできれ
ばと考え、紹介します。

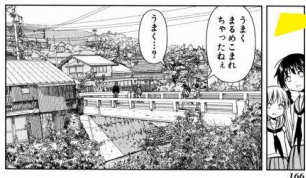




©小林 立/スクウェアエニックス



巡礼マップ -茅野市、下諏訪町、富士見町、原村-



「咲 Saki」は小林立さんが描く、全国大会優勝を目指す高校麻雀部を描いた作品です。それまでは劇画やギャグで描かれることが多かった麻雀漫画に、知的スポーツとしての側面から新風を吹き込み、既刊13巻、別著者による派生作品を複数生み出し、テレビアニメでも本編2作、派生作1作が放送されたヒット作です。

著者の小林立さんは東京都の出身ですが、デビュー作、そして本作で長野県を舞台に選んでいきます。現在は全国大会編に入っているため県内の描写はありませんが、県予選編では中央線や飯田線沿線を中心に多数登場しました。

連載は2006年に始まり、最初のテレビアニメが2009年。その当時からファンの間ではどの場面が描かれたのかを調べて訪れる、聖地巡礼が行われていました。原村の旧観光案内所には交流ノートが置かれ、ファンの書き込みを見る事が出来ます。年間千人前後が巡礼目的で訪れていて、最近では行政でも観光資源として活かしているという活動が始まっています。

作中では背景だけでなく、登場する学校名などに岡谷や千曲、篠ノ井、裾花、風越など見知っている名称が使われています。細かい部分ですが、地元在住者としてはそれを見つけたのも楽しみになります。

東方Project 東方風神録



東方プロジェクトは同人サークル上海アリス幻楽団が製作するゲーム、音楽、書籍などの総称になります。東方プロジェクト、あるいは東方シリーズと呼ばれるいます。同人といえば以前は小説や詩歌などの文芸作品が主でしたが、近年は漫画やゲームの創作活動に用いられることが多くなりました。同人ですからもちろん一般の小売店では扱われない、趣味で作った小規模なものになります。

東方プロジェクトは同人サークル上海アリス幻楽団が製作するゲーム、音楽、書籍などの総称になります。東方プロジェクト、あるいは東方シリーズと呼ばれるいます。同人といえば以前は小説や詩歌などの文芸作品が主でしたが、近年は漫画やゲームの創作活動に用いられることが多くなりました。同人ですからもちろん一般の小売店では扱われない、趣味で作った小規模なものになります。



諏訪大社上社本宮の絵馬
キャラクターの描かれたものが掛けられています

サークルの代表者ZUNさんは白馬村の出身です。ゲーム開発会社勤務を経て、現在はサークル代表者としてゲームや音楽の製作、著述業に従事しています。

シリーズの第10作「東方風神録」 Mountain of Faith.」が諏訪地方の神話や伝承を元になっています。東風屋早苗（諏訪大社上社の神長官、守矢家の現頭首から）、八坂神奈子（諏訪大社の祭神、八坂刀売神から）、洩矢諏訪子（諏訪地方の古い神、洩矢神から）と登場人物の名前に引用。諏訪大社下社秋宮の神楽殿、春上社本宮の天流水舎なども登場します。

この縁もあって、東方シリーズに関連する同人誌の即売会が2010年から岡谷市で開かれています。今年9月の即売会にも100近いサークルが参加、一般来場者を含め、多くの人出で賑わいました。



©岡本倫/集英社/「極黒のブリュンヒルデ」製作委員会

極黒のブリュンヒルデは週刊ヤングジャンプで2012年9号から連載され、現在既刊10巻が発売されています。作者の岡本倫さんは和歌山県出身。ゲーム制作会社勤務を経て、2000年に漫画家としてデビューしました。

本作は北欧神話やニーベルングの歌、ブリュンヒルト伝説などを素材に、現代の日本を舞台に科学的な要素と空想的、幻想的な要素を組み合わせたサイエンス・ファンタジー作品となっています。

アニメ放送は2014年の4月から7月にかけて行われ、県内でも衛星放送のBS11で見ることができました。このアニメ版の中で諏訪市が舞台になりました。5、6話で湖畔公園、そして10、11話で立石公園です。公園内の限定された範囲で様々な場所が使われていて、アニメ内のカットと実際の景色を比較しやすくなっています。また、諏訪以外にも県内では長野市、松本市、軽井沢町が舞台になりました。

BLOOD-C

©BLOOD-C TV 製作委員会/毎日放送

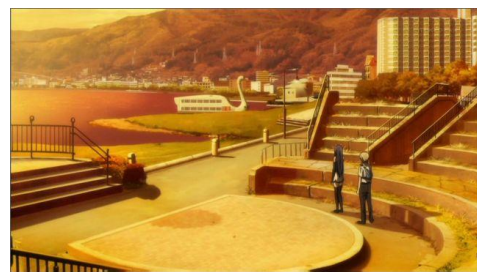


アニメ制作会社 Production I.G と漫画家 集団 CLAMP が共同制作する BLOOD シリーズの3作目です。2011年7月から9月にかけて放送され、県内ではネット

ト配信か、後の衛星放送で見ることができました。「xxxHOLiC」や「おおく振りかぶって」などの水島努さん（松本市出身）が監督、「カードキヤプターさん」や「XI」などで知られるCLAMPの大川七瀬さんが脚本、水樹奈々さんがエンディング曲を歌うということで話題になりました。全景が諏訪湖のように見えること、3話で「中諏訪」という駅名が出てくること、エンディングで諏訪湖スタジアム前の道らしき場所が出てくる



第10話「生きている証」、第11話「突然の再開」で舞台になった立石公園から諏訪湖を望む



第5話「天体観測」、第6話「微笑の理由」で舞台になった湖畔公園の野外音楽堂



ことなどから諏訪市が舞台と考えられていたことが、小説版で諏訪湖がモデルだと明記されました。エンディングから「県道諏訪辰野線（さざなみロード）」

